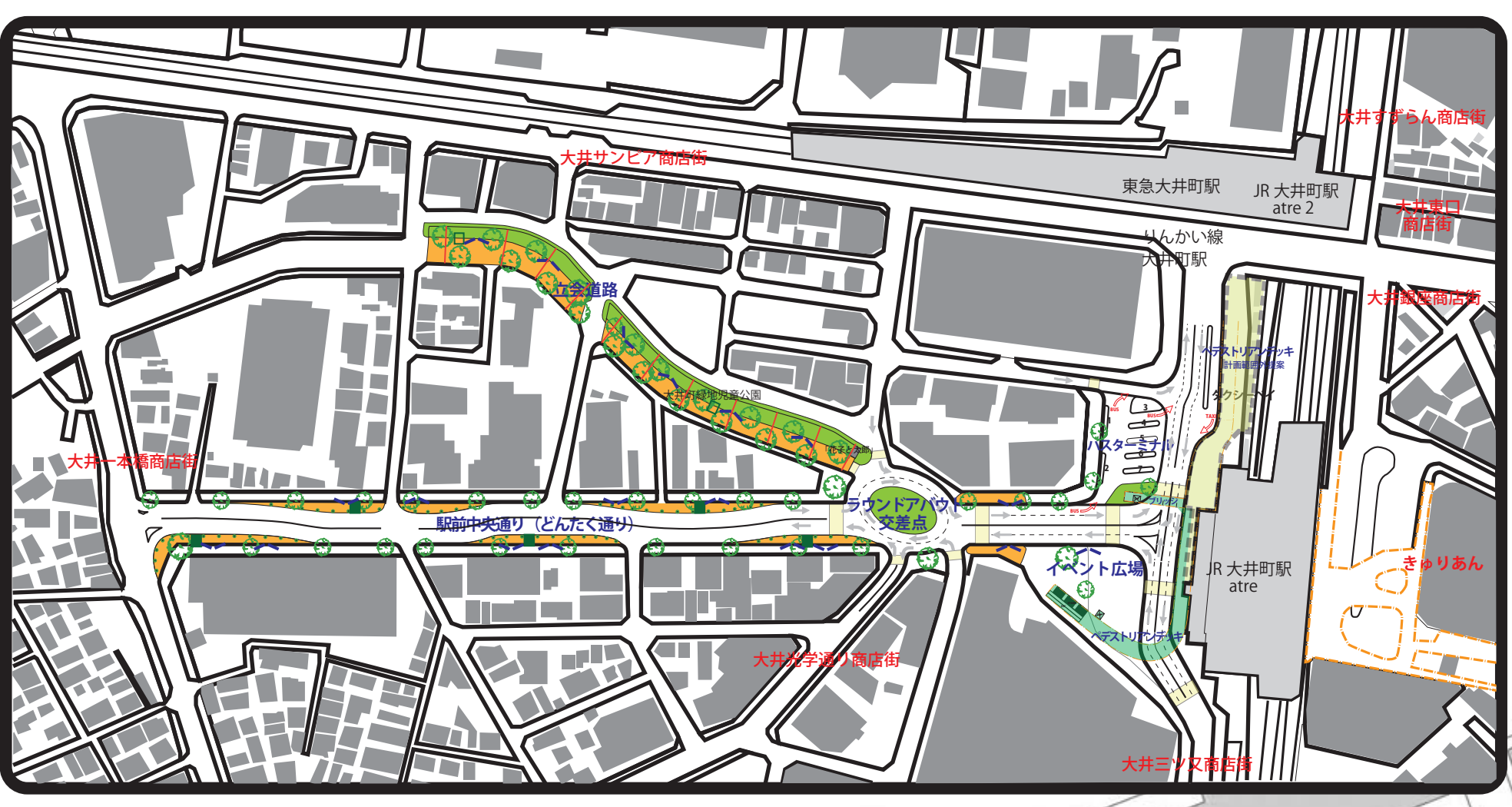
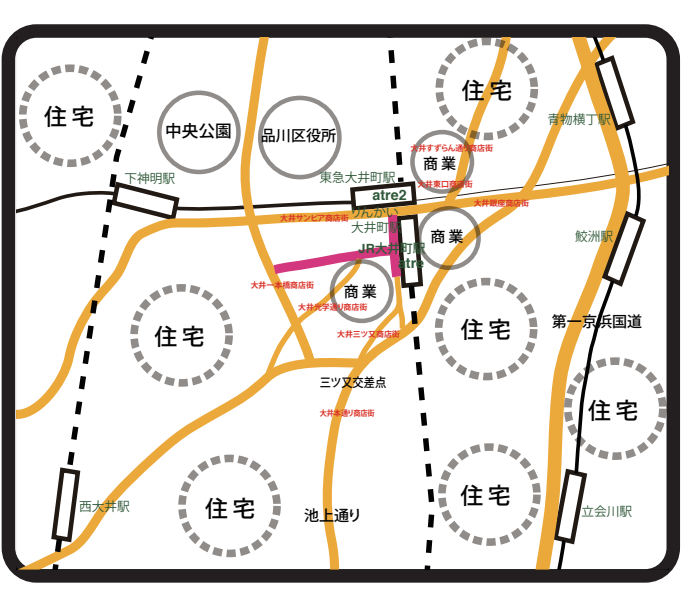




# ちょっと気になる街！ 大井町

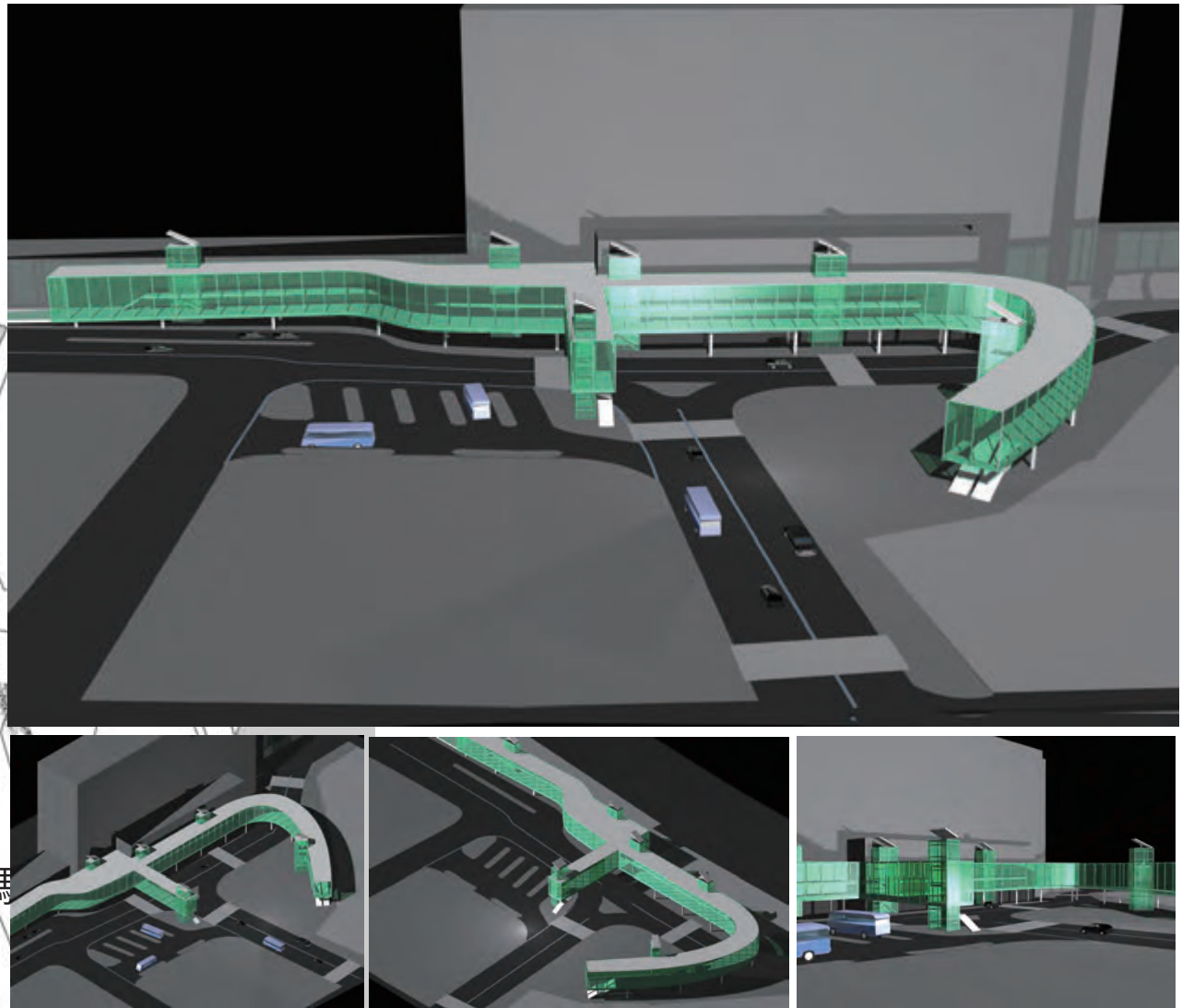


配置平面計画

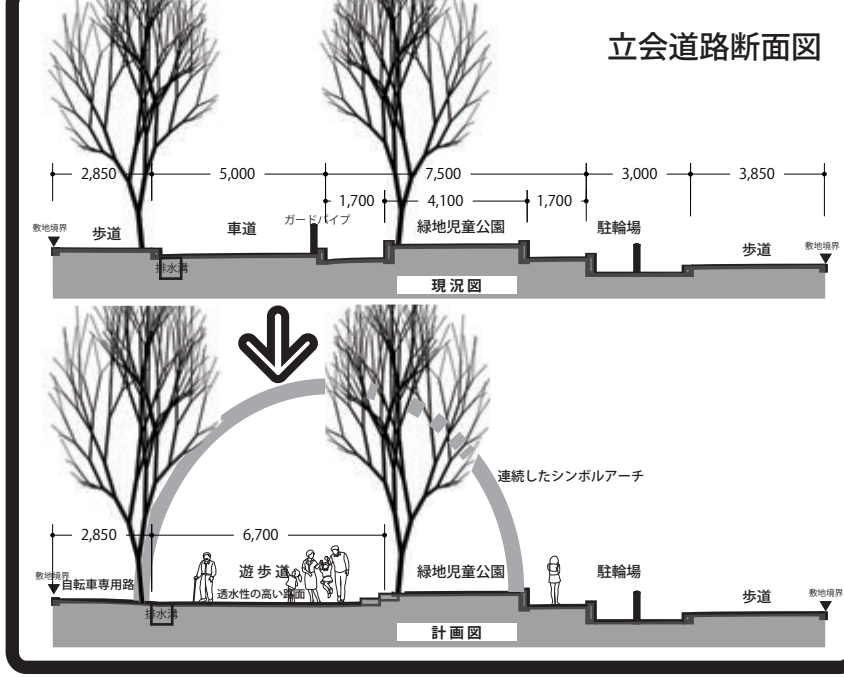


計画地の位置付け

**駅前広場**  
歩・車道を明確に区分し、広くなった安全で安心なイベント広場。また、複数のバスストップをバスターミナル1ヶ所に集約します。JR中央口コンコースとつながったひと専用の利便性の高い動線を確保した街のゲート性を持つ2層式のペDESTリアンデッキを設けます。



**立会道路**  
歩行者優先の児童緑地公園と一体となった安全に散策のできる遊歩道。(道路に面する店舗等の車は制限付きで入ることができる)



立会道路環境イメージ

**ホームゾーン/コミュニティゾーン**  
ホームゾーンプロジェクトとは、人が安全に安心して歩ける歩行者優先の道路に改善し、人にやさしいまちづくりを進めるプロジェクトです。歩行者専用とするのではなく、必要最低限の車は入ることができます。ホームゾーンは単に道路の構造を変えるだけでなく、コミュニティを育む様々な取組みが複合的に行われているのが特徴です。(1990年代半ばよりイギリスで整備されています)

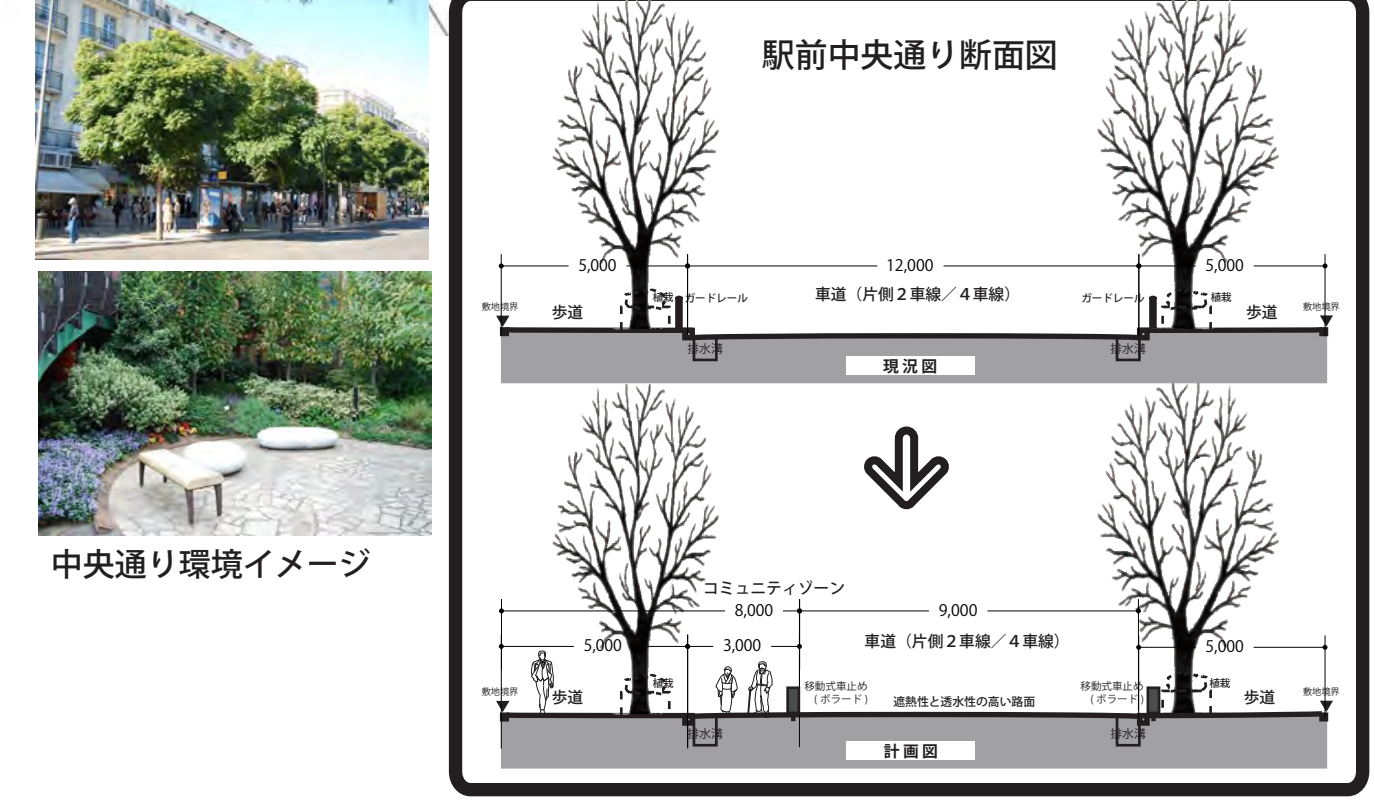
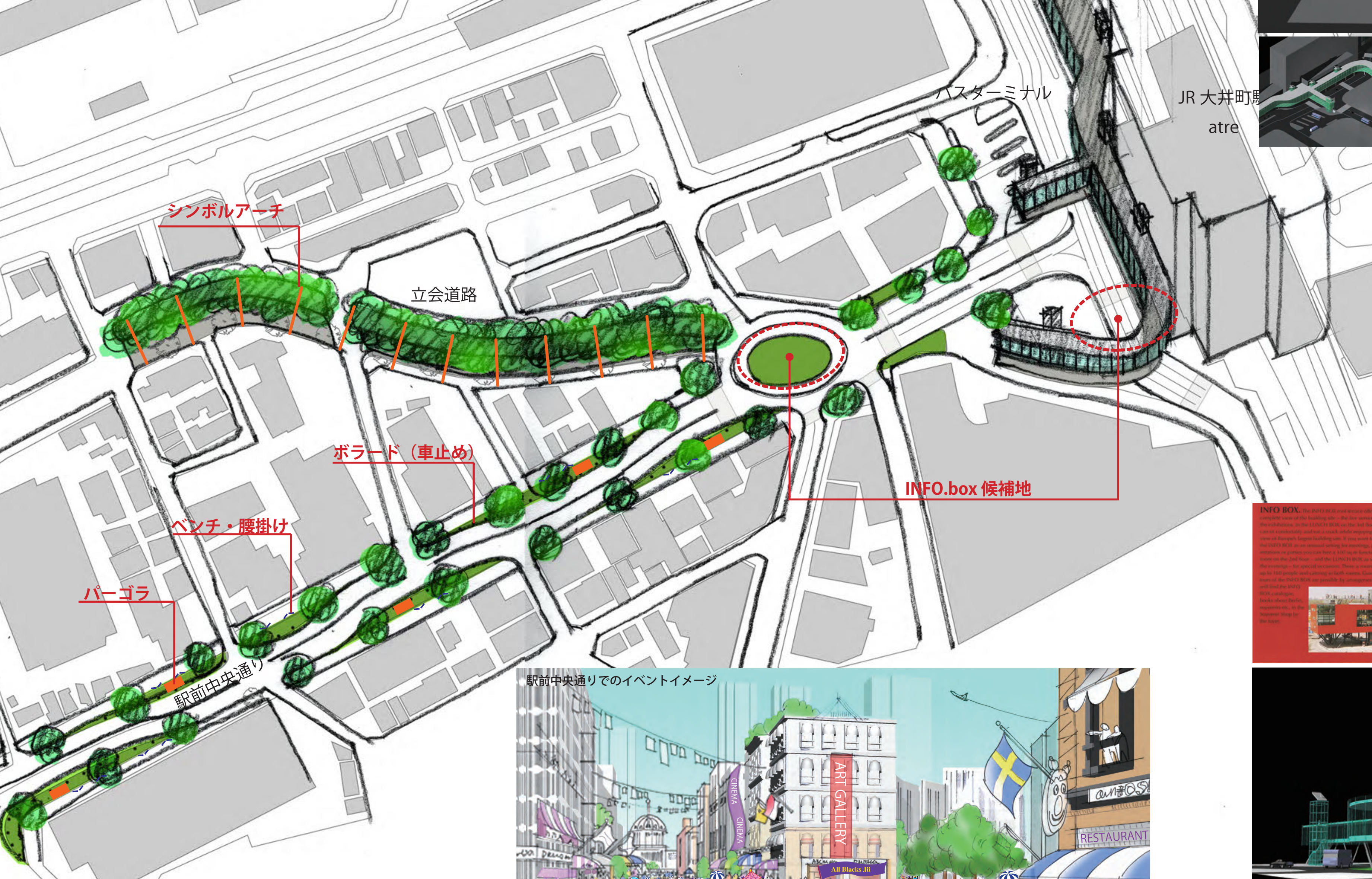


地域の子ども達の遊び

オープンカフェ

(写真はWEB-siteより)

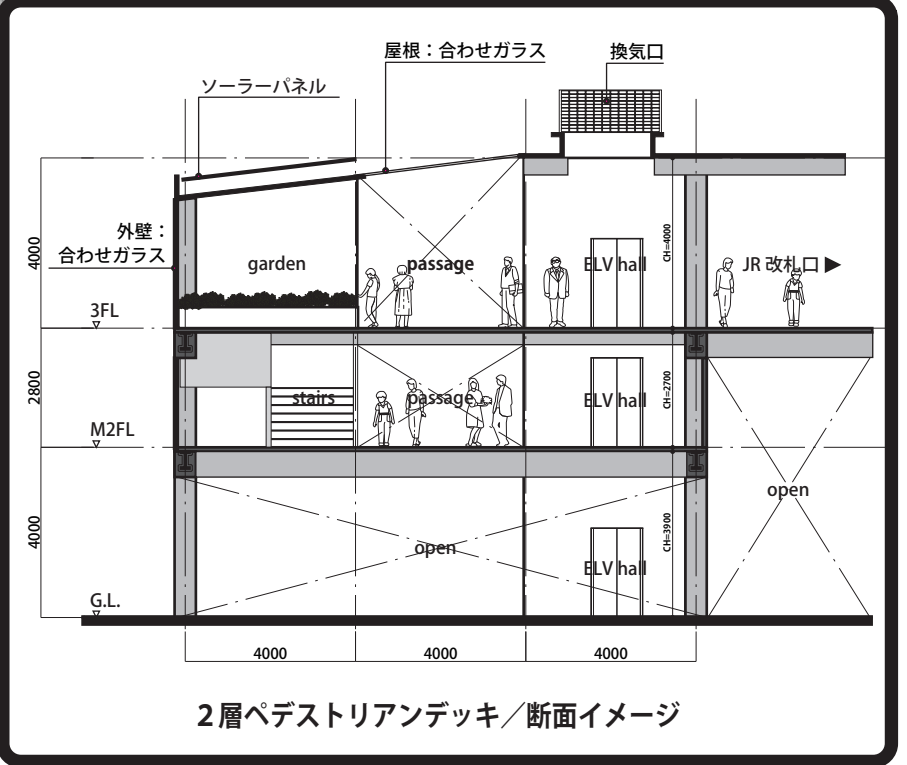
住民による花壇の監理



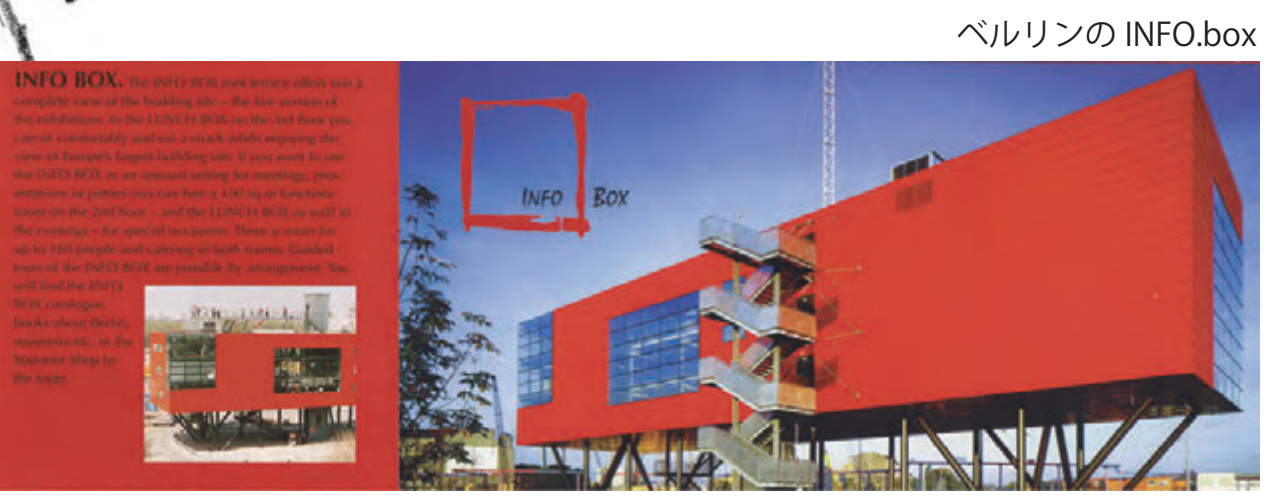
駅前中央通り環境イメージ



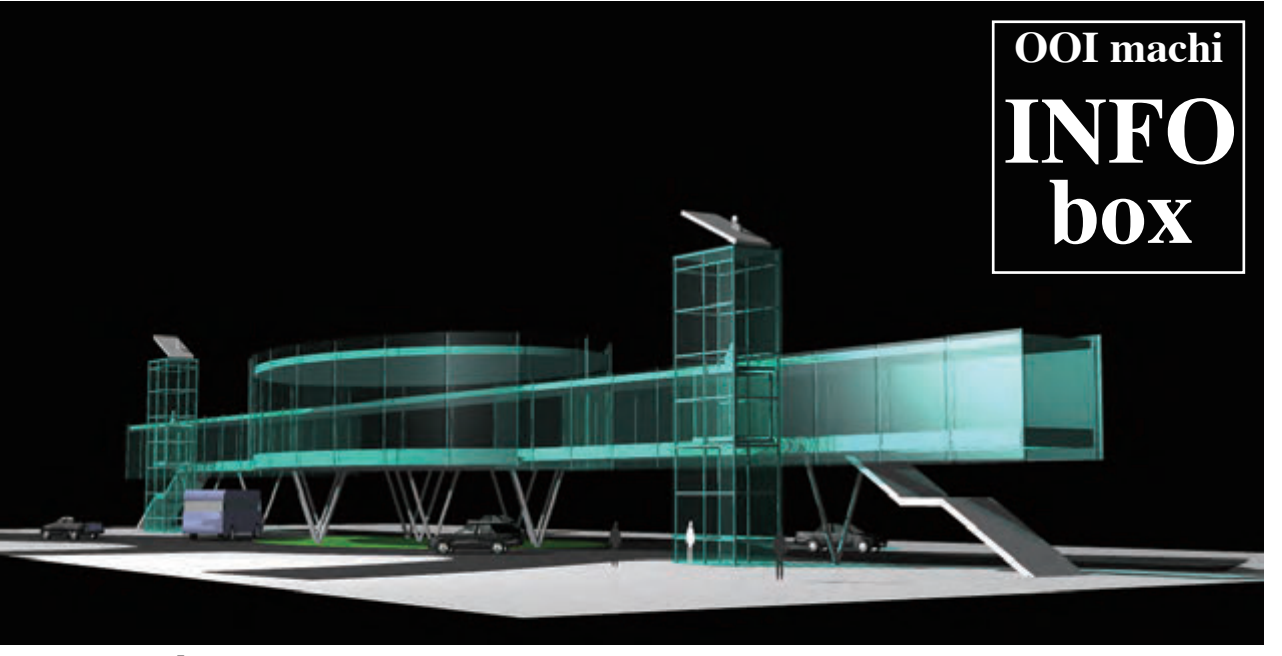
**駅前中央通り**  
ホームゾーン/コミュニティゾーン併設した大井町のランドマーク的な道路。土・日・休日には、ストリート・イベントなど。平日は駐車スペースとして活用します。



2層ペDESTリアンデッキ/断面イメージ



ベルリンのINFO.box



**INFO.box**  
街の総合的な情報を提供する来街者・地元住民へのサービス施設。



サイン類

車止め (ボラード)

ベンチ・腰掛け類

パーゴラ・四阿類

## 提案要旨説明書

## ■作品タイトル

## ちょっと気になる街！大井町

人があつまる大井町駅前中央通り＝未来予想図＝

## ■提案要旨

大井町の未来を考える上で、東京都サウスゲート構想との関連性が考えられます。近い将来、東京のサウスゲートエリアとして戦略的に位置づけられた品川駅付近は大規模な都市開発が進みオフィス、商業施設、研究・交流施設、宿泊施設など多様な機能が集積する魅力のある新しい拠点が形成されようとしています。

それに伴い、国際空港や鉄道各線とのアクセスや乗換えに便利で、生活利便性の高いレジデンスエリアとして、隣接した**大井町エリア**には良質な居住空間と文化と芸術、グローバル化に対応した教育環境の整備された安全・安心でみどり豊かな「ひとに優しい・住みやすい街」が求められます。

また、乗換駅ならではの移動者マーケティングに対応できる、ちょっと寄り道したくなる店舗や施設の需要も増え、地域住民にとっても、日常のショッピングやちょっと自慢したくなる飲食店やカフェなども充実した街に変わります。

その環境整備の一環としての下記の「駅前中央通り等の計画」をご提案します。

その1：駅前広場の車とひとの動線を整理し、安全と利便性を確保。

駅前広場の拡張とバスターミナルの整理。また、2階建てのペDESTリアンデッキを構築し、内部に商業施設を配置し「にぎわいの創出」を行います。

その2：駅前中央通りは、車のアクセスを規制し、複雑な6差路の交差点を信号の無いラウンドアバウト型の交差点とし、安全性と交通量の増加に対応。

また、地域住民のコミュニティ活動の場／ホームゾーンのエリアを設け、地域の活性化とこども達を含めた住民相互のコミュニケーションをサポートします。

その3：立会道路は、南側の道路を原則一般車両禁止の歩行者優先の道路に衣替えし、緑地児童公園と一体化したみどりの豊かな散策路にします。

その4：INFO.box：街の総合的な情報を集めた来街者・地元住民のためのサービス施設。大井町エリアだけでなく品川区の歴史・文化などの観光、商業施設、娯楽施設などの案内をジオラマ、ガイドブック、リーフレット、ポスターなどで紹介。

開発計画：東京都のアジアヘッドクォーター特区構想

内閣官房の国際戦略総合特区構想

内閣/都市再生本部の特定都市再生緊急整備地域指定

計画工程：2014年に羽田空港ターミナル拡張等完成による更なる国際的なハブ空港化

2020年に品川駅・田町側新駅界隈の再開発が完成

2027年には品川が始発駅のリニア新幹線の開業